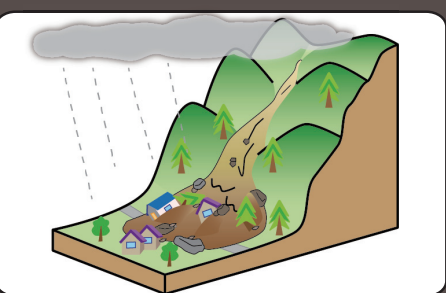


土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害とは、台風、大雨や地震などが引き金となって、「土石流」、「地すべり」、「急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）」などを誘発し、人の生命や財産が脅かされる自然災害のことです。近年、地球温暖化に伴う気候変動により大雨が増加する傾向にあり、土砂災害の増加や激甚化が懸念されています。

前兆現象を見つけたら 早期の立ち退き避難が必要です！
役場へ連絡をお願いします。

土石流

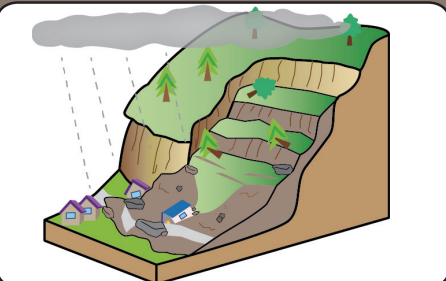


山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速 20 ~ 40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

前兆現象

- ・ 立木の裂ける音や巨礫の流れる音が聞こえる。
- ・ 渓流の流水が急激に濁りだしたり、流木などがまざっている。
- ・ 降雨が続いているにもかかわらず渓流の水位が急激に減少しはじめる。
- ・ 降雨量が減少しているにもかかわらず渓流の水位が低下しない。
- ・ 渓流付近の斜面が崩れだしたり、落石などが起こり始めそうとき。

地すべり

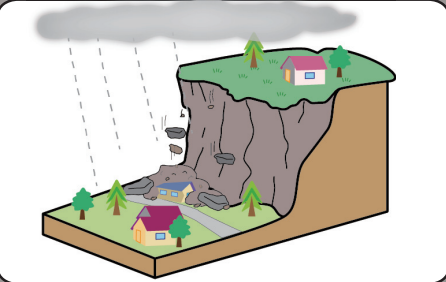


斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。大雨や融雪時に発生しやすく、一度に広範囲が動くため、大きな被害を及ぼします。

前兆現象

- ・ 池や井戸の水が急に減水したり、濁ったりする。
- ・ 土砂の移動速度が次第に速くなってきた。
- ・ 山腹に亀裂が生じた。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）



斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。崩れ落ちるまでの時間が短く、人家の近くで起ると逃げ遅れる人も多く、人命を奪うことのできる災害です。

前兆現象

- ・ 斜面から急に水が湧き出した。
- ・ 小石がパラパラ落ち始めた。
- ・ 立木の倒れる音がする。

土砂災害警戒情報とは？

土砂災害は個別の災害発生箇所・時間・規模等を詳細に特定することはできません。よって気象庁による「大雨警報」発表中に土砂災害の危険が高まった時、避難指示などを発令する判断や自主避難の参考となるよう都道府県と青森地方気象台が共同で市町村毎に発表する防災情報です。



青森県土砂災害警戒情報システム
<https://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/>

青森県 土砂 システム

青森県では土砂災害警戒情報は市町村単位での発表となるため、より細かい区域での危険度情報がわかるよう、土砂災害警戒情報システムによる補足情報の提供を行っています。

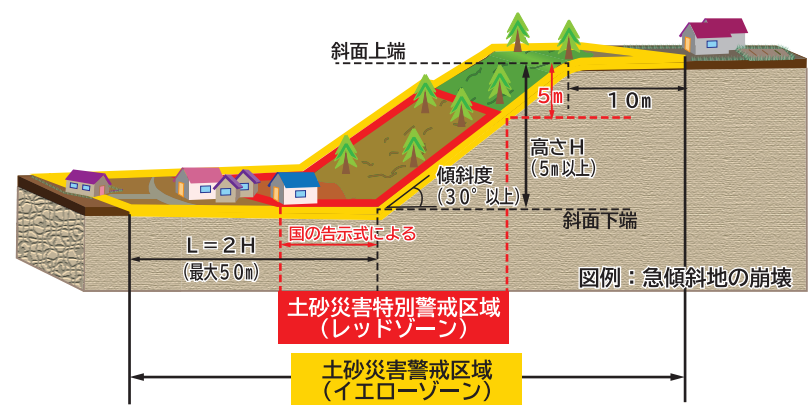
土砂災害から避難する際の注意点

土砂災害は、斜面の植生・地質・風化程度等状況に影響される予測の難しい災害です。土砂災害警戒情報や避難指示等がだされたり、普段と異なる状況に気づいた場合には、直ちに安全な場所に避難しましょう。

安全な避難経路を	垂直避難	土石流からの逃げ方
 <p>自宅近くに危険箇所がある</p> <p>他の土砂災害警戒区域をあらかじめ調べて、なるべく避けて避難しましょう。</p>	 <p>大雨や立ち退き避難に間に合わない外に出るのが困難な場合</p> <p>2階以上の斜面から離れた部屋へ移動。</p>	 <p>土石流はスピードが早いため、流れを背にすると追いつかれる</p> <p>土砂の流れに対して直角に逃げる。</p>

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは？

土砂災害防止法（土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律）に基づき青森県が地形や地質、土地利用状況などを調査し、土砂災害のおそれがある区域を指定したものです。



土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）
 土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に**危害が生じるおそれ**があると認められる区域。

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）
 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のうち、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に**著しい危害が生じるおそれ**がある区域であり、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造制限が義務付けられています。

キキクル（危険度分布）の活用について

「危険度分布」は、雨による災害の危険度を地図上に色分けしリアルタイム表示するもので、活用することにより災害から自分自身や大切な人の命を守ることができる情報です。気象庁ホームページで公開されています。

気象庁キキクル（危険度分布）
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

気象庁キキクル

常時更新しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。